

「県政ながの」諏訪支部長
長野県議会議員 金子ゆかり

▲水防訓練で土嚢づくりを研修中

紫陽花に露の光る季節を迎えました。長い梅雨になつていますが、皆様いかがお過ごしでしょうか。今年も強烈な台風8号が長野県にも大きな被害をもたらしました。被災された皆様にも心よりお見舞いを申し上げます。それにしても昨今の気象状況を見ると、性格が激しくなっているように思われます。温暖化の影響でしょうか。去る6月定例会の補正予算の大半は、今年2月の豪雪被害対策費でした。季節を問わず災害への備えに一段と注意が必要と感じます。

さて、四月から消費税のアップによる景気の落ち込みが心配されましたが、長野県の景況は「緩やかに回復しつつある」ようです。業種や事情によりまだら模様であり、民間投資の勢いが早期に隔々まで浸透するよう期待するところです。

六月議会は集団的自衛権の行使なども議論がされたところですが、今後も皆様とともに、気持ちを引締め、諸課題に取り組みたいと思っております。引き続きご意見、ご指導賜れば幸いです。

この夏は長野県にとって重要な知事選挙が行われます。候補者の理念や政策に注目して貴重な一票を投じましょう。これから更に暑い夏に向かいます。くれぐれもお過ごしください。

◆長野県議会6月定例会 議会報告◆

- 今定例会に上程された補正予算の総額 108 億 9925 万 4 千円の内、106 億円余は、去る 2 月の豪雪被害に関する農業生産施設の復旧・撤去等の支援、無利子融資への支援などです。
- 諏訪湖酸素対策調査研究事業費の 574 万円余には、国庫補助の他、ふるさと信州寄付金を活用した溶存酸素計の整備費 11 万 7 千円が含まれています。環境省からの支援を評価したいとおもいます。
- 市町村から要望の多い自殺防止対策のための医療機関の連携強化等に 1 億 16 百万円余や、農業農村の多面的機能維持のため、水路、農道等の保安全管理の共同活動を支援する「多面的機能支払事業費」に、1 億 18 百万円余も盛り込まれました。
- その他、子ども支援条例(通称)など条例案、県の教育委員や収用委員の人事案件を可決し、25 年度の決算審議のための特別委員会を設置して閉会しました。

長野県の未来を担う子どもの支援に関する条例
子どもの育ちを支えるしくみを考える委員会の設置以来 3 年、県議会でも再三の議論を重ねてきた条例案が可決されました。子ども達が人権侵害、不当な差別、虐待、体罰、いじめなどに苦しむことなく生きていけるよう、各般の役割を規定し、相談の総合窓口を県庁内に設置すること、困難な事例などを調査審議し知事又は教育委員会に対して勧告できる「子どもの支援委員会」の設置などを定めています。さらに議会からは、いじめ条例(通称)についての早急な検討を求めました。

議会改革調査会
審議の結果、当初予算審議の 2 月定例会の日程変更、議会傍聴手続きの簡素化、委員会におけるタブレット端末の使用について、の 3 点を改革すべきと議長に申し入れました。

長野県議会情報産業推進懇話会が設立されました
ICT 構想、キャッシュレス、スマートシティなど、次世代をリードする情報産業が長野県の将来展望においても主要な一翼を担うよう、連携協力していきます。

※ICTとは、コンピュータやネットワークに関連する諸分野における技術・産業・設備・サービスなどの総称

環境産業観光委員会

▼環境部、産業労働部&労働委員会、観光部を連日採決という日程で熱心に審議しました。



▼最終日に本会議での委員長報告

リニア中央新幹線の環境影響評価については的確な情報提供や負荷低減を、温暖化の被害低減の第一層の取り組み、景気回復をより確かなものにするため、来年 4 月オープン「しあわせ信州食品開発センター」の活用や、女性、高齢者、若者の雇用環境の改善等を求めました。2016 年日本開催予定の主要国首脳会議の県内誘致への期待も示し、「信州山の日」のスタートに際し、首都圏での啓発や遭難防止対策の強化、また北陸新幹線金沢延伸の全県への誘客促進などを要望しました。



▲恒例の長野県商工会連合会役員と委員会との懇談会を開催しました

地域経済活性化議員連盟勉強会
7月2日 朝食会勉強会にて、講師で県経営者協会会長の山浦愛幸氏の県経済の将来ビジョンを拝聴。

商工会議所懇話会全体会議
県内の 18 商工会議所会頭と専務理事等 70 名余による全体懇談会を開催。平成 27 年度からの補助金算定基準の変更などについて意見交換を行い、早急な対策を纏める方向づけをしました。

意見書を可決しました

- 農業委員会制度等に関する意見書
- 農業協同組合の自己改革に対する支援を求める意見書
- 地震財特法の期限延長に関する意見書
- 地方における気象観測及び防災情報提供体制の強化を求める意見書
- 集団的自衛権に関する意見書
- 地域包括ケアシステム構築のための支援を求める意見書
- 若者雇用の総合的かつ体系的な対策を求める意見書 など

ゆかりんの県政報告

発行責任者 金子ゆかり

平成 26 年 7 月 13 日 発行

◆一般質問に立ちました <6月25日>

消費生活基本計画について

今年 5 月末における特殊詐欺の被害状況は？
81 件、4 億 9028 万円余。認知件数で 18 件、8500 万円余増加。金融商品等取引名目詐欺、オレオレ詐欺、架空請求詐欺の 3 類型が全体の 7~8 割を占める。

消費生活基本計画、消費者教育推進計画策定の趣旨とその中の対策は？
特殊詐欺等の被害の急増、消費者トラブルを誰にも相談しない方が約半数いることなどの現状から、悪質商法などの被害に逢わないようにする環境整備や予防、被害に逢った時の相談、救済の為に県として初めて策定した。消費生活サポーターを全県で 300 人、出前講座など年間 200 回以上開催する予定。また、賢い消費者になるため、地域、職場、学校、教職員研修など消費者教育を推進する。

市町村の消費生活センターの設置状況はどうなりましたか？
平成 23 年から 3 市増えて現在 11 市に設置。諏訪地域は岡谷市が検討中。今後は広域連携のセンター設置も期待する。

人口減少、高齢社会への対応 - 家庭部門支援について

家事支援やベビーシッターの資格制度や認定制度など利用拡大の支援策が必要では？
家事代行サービスの全国的な業界団体において認証基準に関する検討が始まっているとの情報や、ベビーシッターについては国の届け出制度の検討など状況を見守っていく。

医療・介護においても厚労省は在宅を進めるとしているが、スムーズな移行の方策は？
平成 20 年厚労省実施の「終末期医療に関する調査」では、一般国民の 63%が自宅での療養を望んでいるものの、66%が最期まで自宅での療養は困難としており、理由として、家族への負担懸念や病状急変時の不安が多い。円滑な在宅移行には、
①医療機関と介護支援専門員による入院初期段階からの退院支援に加え、
②多職種チームによる 24 時間の包括的支援体制の構築による家族負担の軽減。
③病状急変時の円滑な入院体制の確保などが重要課題。
県として支援策の充実を図る。

人口減少社会への対応 - 教育について

県内に国の基準(特別事情を除き概ね 12~18 学級)を満たしていない小中学校はどのくらいありますか？
平成 25 年 5 月 1 日現在、小学校 168 校(構成比 45.4%)中学校 87 校(同 46.8%)。

県の考える学校規模、通学の利便性向上など今後の対応は？
学年に複数の学級がある学校規模が望ましい。少なくとも学年で 20 人程度を確保したい。が、地理的条件等、実情に応じ設置者の市町村を県としても支援をしていく。

小中一貫校の縦の統合や、市町村の枠を越えた横の統合など再編の参考事例はありますか？
信濃町立信濃小中学校は、町内 5 小学校を統合するとともに中学校を同一施設内に設置し、施設一体型の小中一貫校として平成 24 年 4 月に開校した。京都府相楽郡では 2 町 1 村で広域連合教育委員会を設置することにより、3 小学校、2 中学校間での合同クラブや行事など集団で学びあえる環境を実現している。

大局的な見地から県として配慮すべきことは？
少子・人口減少社会に対応した学校環境の整備は喫緊の課題と認識。このたび「少子・人口減少社会に対応した活力ある学校環境のあり方及び支援策」を策定した。主体の市町村に対し、活力ある学校づくりを推進する中核教員の加配、国の制度や先進事例の情報提供、計画作成中に生じた課題解決の助言などに取り組んでいく。

その他、詳細は県議会ホームページにて VTR でご覧いただけます。
<http://www.pref.nagano.lg.jp/gikai/chosa/chuukei/chuukei/rokuga/h2606.html>

平成 25 年度 政務活動費の収支報告書を提出しました

25 年度の「県政ながの」の政務活動費総額 22,226,108 円の内、2088 万円を充当しました。その内の諏訪支部の内容を報告します(円)

調査研究費	383,375
研修費	65,935
広聴広報費	443,982
要請陳情活動費	56,930
会議費	42,240
資料作成費	15,960
資料購入費	125,187
事務費	506,647
人件費	1,143,250
合計	2,783,506

(内政務活動費としての充当額 2,530,472 円)

環境産業観光委員会現地調査 5月27~29日



松本、諏訪、飯田の各合同庁舎で県の出先機関を調査

▲航空宇宙産業の集積を目指す、南信州・飯田産業センター航空宇宙産業クラスター拠点工場には県の支援を入れています。

▲農業機械のデリカは平成 25 年グッドカンパニー特別賞を受賞

金子ゆかり後援会

今年も大勢の皆さんにご参加頂き、両イベントとも賑やかに、また和気藹々の楽しい一日となりました。皆様のご協力に感謝申し上げます。

バスの中をウロウロ、豪華賞品を楽しみにクイズに答えね。



第 12 回金子ゆかり親睦ゴルフコンペ 5月18日(日) 諏訪湖カントリークラブにて



6月2日「ゆかりん」と行く沼津で美味しいお昼を食べる久能山東照宮参拝と沼津御用邸見学